

心の窓

五年 Y・I

九月、京都・奈良への見学旅行に行く前、私はわくわくする気持ちと共に、ある疑問を抱いていました。それは「なぜ恵泉はキリスト教主義の学校なのに、京都・奈良でお寺や神社を見て回る旅行をするのだろうか」というものでした。しかも恵泉では、昔からずっと京都・奈良への旅行をしてくれているので、とても不思議に思っていました。

私は両親がクリスチャンだったので、小さい頃から教会に通っていました。私にとって毎週日曜日は教会に行くということが当たり前のことで、特に意識することはありませんでした。小学校に入学してしばらくすると、私はみんなが教会に行っていないことを知り、自分の家はほかの家と違っているのだと思い始めました。みんなと違っていることに気づいた私は、あまり友達に教会に行っているということを言わないようになりました。友達に言ったらどう思われるのかわからず、怖かったからです。そして私は小学校六年間、静かに教会に通い続けました。恵泉に入学することになり、私はもう隠さなくて良いのだと思って嬉しかったのを今でも覚えています。しかし実際に入学して、だんだん学校に慣れてくると、私の想像とは異なっていることがわかってきました。クリスチャンホームで育った人や教会に行っている人が、思っていたよりも少なかったのです。先生でもクリスチャンではない人が多く、驚きました。ですがやはり小学校の時とは違って、キリスト教について理解のある人が多いということもあり、自分が教会に行っているということも話しやすくなりました。小学生の頃はほとんど友達を教会に誘うことはありませんでしたが、中学生になってクリスマスなどには友達を誘うようになりました。

私は今回見学旅行に行くにあたり、宗教というものについて考えさせられました。最初に述べたとおり、行く前は「どうして仏教の寺院を回るのか」という疑問を持っていました。実際に京都・奈良で多くのお寺や神社を訪れ、仏像を見たり、お話を聞いたりすることは私にとって新鮮な体験でした。印象的だったのは、火事になってお堂から仏像を持ち出そうとした時の話です。仏像全体は重くて持ち出せないので軽い頭部だけを切断して運んだということを知り、そういう昔の人の努力や信仰があったからこそ、今でもこれらの仏像が残されていて私たちが見ることができるのだと実感しました。旅行中には参拝を

促されることも何度かあり少し嫌でしたが、それよりも得られたものがあったと思います。

今まで、自分の信じていない神様のことを知ろうとしたり、考えたりすることはあまりありませんでした。しかし今回の旅行で、日本人として知っておかなければならない歴史や文化もあるのだと思われました。日本では古くから多くの神様を信じていました。実際に仏像をみて、私は人々が必死にその伝統を守ろうとして今まで残っているということを感じました。このように古くから伝わってきた自国の歴史を知ることは、必要なことだと思いました。京都の街には多くの外国人観光客もいて、その人たちよりも日本の歴史に感心を持っていないというのは非常に恥ずかしいことだと思いました。信じる・信じないは別として、自分の国の歴史を知るという意味で今回の旅行は意味のあるものだったと思います。

もう一つ、私はこの見学旅行で得たものがあります。それは、自分がクリスチャンであるという確信です。私はこれまで、キリスト教が生活の一部になっていて、自分は一つの宗教を信じているということ意識することはあまりありませんでした。「仏教」という宗教を信じている人がいるように、私も周りから見れば「キリスト教」という宗教を信じている人の中の一人であるのだと思いました。

今までキリスト教以外の宗教は、自分とは全く関係のないものだ認識していたように思います。しかし今回仏教の建物や仏像を見たことで、キリスト教との違いを知り、それぞれの宗教の違いを肌で感じることができました。そして私は改めて、クリスチャンであることを実感しました。今まで見ようとしなかった、知ろうとしなかった他の宗教に触れて、すべてわかっているように思っていた自分の信じている宗教についても、気づかなかったことがあるのだと思いました。今回、他宗教との神様の捉え方や祈り方の違いに触れて、改めてキリスト教の特徴がわかったような気がします。これは、実際に行ってみないと体験できなかったことだと思います。

新しい世界に目を向けることで、今までいた世界の新たな一面を見ることができたのです。私はこれからも、新しいものにもどんどん目を向けていけたらと思います。

最後に皆さんに言いたいことがあります。私は皆さんに、もっとキリスト教に関心を持っていただきたいと思っています。信じて欲しいと言っているので

はありません。恵泉に入学した皆さんは、すでにキリストとの出会いを果たしています。今は、朝から礼拝なんて面倒だと思っている方もいると思います。でもきっとこれは、神様が私たちに与えてくれた良い機会なのだと思います。せっかくの機会を無駄にせず、しっかり自分のものにして欲しいと思います。そして恵泉での礼拝だけを見て、これがキリスト教だと思って欲しくはないのです。キリスト教に良いイメージがない人こそ、もっと関心を持ってみてください。キリスト教という宗教を信じていることで悩みがなくなり、願いがなんでも叶うというわけではありません。私はキリスト教を信じていることで、人生が豊かになっていると感じています。私の教会にも、小さな子供からお年寄りの方まで色々な人が毎週集まっています。日曜日の朝からわざわざ教会に来るのは、皆それぞれに求めているものがあるからだだと思います。礼拝堂で牧師先生の話聞き、讃美歌を歌うことで、新しい一週間に向かっていく決意ができる気がします。少しでも興味のある人は是非、近くの教会に足を運んでみてください。特にクリスマスには、それぞれの教会で様々なイベントが準備されていると思います。新たな世界に一步踏み出すことで、必ず得られるものがあるはずです。

クリスマスを待つアドベントのこの時期を私は毎年楽しみにしています。私のクラスにはアドベントカレンダーというものがあり、毎日一つずつ小さな窓が開けられていきます。中からはかわいいイラストが出てきます。だんだん増えていくその窓を見ると、私はますますクリスマスが楽しみになります。今日でちょうど半分くらいの窓が開けられました。この窓のように、私の心もキリストに向けて開き、クリスマスを迎えたいと思います。